

様式第 2 号

視察研修先	北海道函館市	氏名	荒木 春吉
視察研修項目	中心市街地活性化事業（はこだてみらい館・はこだてキッズプラザ）について		
<p>1. 中核市の函館市は国際観光都市を目指し、子供・若者の将来と未来が活々で、魅力のあるまちを目標にしている。</p> <p>2. キラリス三階のはこだてみらい館は、知的好奇心を刺激する仕掛けがあり、「発見・驚き・感動」を体感できるコミュニケーションの場である。</p> <p>3. 同上四階のはこだてキッズプラザは全身で遊び且つ育児支援の全天候型プレーランドである。</p> <p>4. メディアウォールの水稻栽培を鑑賞した。粃撒きから収穫迄の全行程が大画面に鮮明に表現されていた。</p> <p>5. 課題は両館共にオープンから 9 年が経過し、機器更新・魅力維持そして市負担の増加の三点である。令和 10 年に予定している大規模改修も頭の痛いところではある。</p>			

様式第 2 号

視察研修先	北海道函館市	氏名	荒木 春吉
視察研修項目	地域のコミュニケーション、まちづくり活動のサポート事業（地域交流まちづくりセンター）について		
<p>1. 指定管理者制度はソフトに移行しており、その長所は①サービスの多様化②非前例踏襲③市民活動支援の雇用創出④経費減によるサービス向上の四点である。</p> <p>2. 指定管理者制度の問題はポイントで業者を選んでも全額と専門性の両立が難しい点、勿論中味が勝負どころではあるのだが。</p> <p>3. 要項を掲げ、公益性を重視して減免対象への条件を定めてはいる。</p> <p>4. 歴史的建造物の御蔭で、掘起しが難しい。</p> <p>5. 時代を先取りした学部からなるはこだて未来大学がありとてもうらやましい。地元定着率が1/10なのは余りにも勿体無い。</p>			

様式第 2 号

視察研修先	青森県青森市	氏名	荒木 春吉
視察研修項目	コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりについて		
<p>1. 我が会派より多い人数で対応し、カラフル且つ読み易い資料を揃えて頂き有難かった。説明も 1 時間半も費やして頂き大感謝。</p> <p>2. ネットワーク化は市営バスと市バスで行っている。令和 6 年に実証運行で今年度に入って本格運行に成った。(AIデマンド交通)</p> <p>3. 中心部と周辺部には相剋と較差が存在する。</p> <p>4. 駅周辺の整備は県・市・商工会・JR東日本の四者で協議して進めた。アイデアと予算に苦しみながらも何とか実行に移している。</p> <p>5. 青森市には何ととっても三内丸山遺跡、安藤忠雄設計の青森公立大内の国際芸術センター青森そして県美術館の奈良美智でしょう。時間があると眺められたのに誠に持って残念・無念。</p>			